PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

R3

(11)Publication number:

62-124289

(43)Date of publication of application: 05.06:1987

(51)Int.Cl.

C25D 5/06

G02F 1/133

H05K 3/18

(21)Application number: 60-262888

(71)Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing:

21.11.1985

(72)Inventor: ADACHI KOHEI

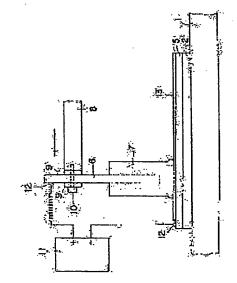
KAWASHIMA YASUO

(54) FORMATION OF METALLIC FILM ONTO TRANSPARENT CONDUCTIVE FILM

(57)Abstract:

PURPOSE: To electroplate a metallic layer having excellent adhesiveness to a desired film thickness by subjecting a transparent conductive film on a transparent insulating substrate consisting of glass, etc., to electroless plating then moving electrolyte absorbed cotton attached to the periphery of an anode back and forth and energizing the anode without using a plating cell.

CONSTITUTION: An Ni-P alloy 5 is electroless plates on the transparent conductive film 2 of In2O3, SnO2, etc., patterned on the surface of the transparent glass substrate 1. A negative electrode of a DC power source 11 is attached to an Ni-P electroless plating film 5 and the positive electrode of the power source 11 is attached to the anode 6 for electroplating. The cotton 7 absorbed and impregnated with a plating liquid of Cu, Au, Ag, etc., is attached to the top end thereof. A rod 8 which is electrically insulated by an insulating washer 9 from the anode 6 is moved back and forth, by which the



plating liquid absorbed cotton 7 as the anode is energized while said cotton is moved back and forth on the Ni-P plating film as the cathode. The uniform metal plating film 13 having the excellent adhesiveness is thus formed by electroplating.

®日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭62 - 124289

@Int_Cl_4	識別記号	庁内整理番号		@公開	昭和62年(1987)6月5日	
C 25 D 5/06 G 02 F 1/133 H 05 K 3/18	3 2 3	7325-4K 8205-2H H-6736-5F	審査請求	未請求	発明の数 1	(全4頁)

公発明の名称 透明導電膜上への金属膜形成方法

②特 額 昭60-262888

❷出 願 昭60(1985)11月21日

⑫発 明 者 安 達 光 平 尼崎市塚口本町8丁目1番1号 三菱電機株式会社材料研

究所内

@発 明 者 河 嶋 康 夫 尼崎市塚口本町8丁目1番1号 三菱電機株式会社材料研

究所内

四出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

砂代 理 人 弁理士 大岩 增雄 外2名

明 日本

1. 発明の名称

透明導電膜上への金属膜形成方法

2. 特許請求の範囲

(1) 蒸板 面上 に オターニング した 透明 導電 膜上 に 無 電 筋 メッキを 施 した 後、 陽 恒 金 周 の 周 辺 に 取 付 け られ メッキ 電 解 液 を 含 長 さ れ た 吸 収 締 を 上 配 無 電 解 メッキ し た オターン 上 に 接 触 移 動 さ せ る こ と に よ り 電 気 メッキ を 行 う こ と を 特 敬 と す る 透 明 導 電 膜 上 へ の 金 属 膜 形 成 方 法。

3. 発明の許細な説明

(強菜上の利用分野)

この発明は液晶設示板等の絶談拡板上の透明等 地級パターンに回路基板やICテップを接続する ためあるいはパターン電流容量を増大するための 透明導電膜上への金属膜形成方法に関するもので ある。

〔従来の技領〕

従来、この権の方法として特別昭 57-119325 号公報 D L び特別昭 58-114085号公報 が公袋さ れている。前者は故品表示イネルの増子部の透明 導電膜上に全面あるいは部分的に無電解メジャを 施するのである。又、 後者は透明導電膜を陰極に して電気メジャを行うものである。

[発明が解決しようとする問題点]

しかるに、前者では、Ni-P来の無電がより、 がれたというというでは、 のが性、ではいかのでは、 のが性が、では、 のがでは、では、 のがでは、 のがでは、 のがでは、 のがでは、 のがでは、 のがでは、 のがでは、 のがでいて、 のがでいるが、 のがでは、 のがでいるが、 のがでは、 のがでがでがでは、 のがでは、 のがでは、